

女性研究者支援のための「新潟大学人材バンク」について

1. 趣旨

女性研究者が教育研究を進めていく上で、妊娠中の体調不良、子育て中の研究時間の不足など、さまざまな問題がある。そのようなときに、研究の補助や授業の一時的担当などを行う補助者をすぐに探すことができれば、心身の負担も軽減される。

また、本学が総合大学であることから、該当研究分野・組織等で支援内容および支援者の要件等が異なるが、本人材バンクでは、広く登録を募り、ニーズに対応していくこととする。

2. 人材バンクの利用が想定される女性研究者のケースと必要とされる支援内容

以下の表に示すように、女性研究者のそれぞれの状況において、補助者等の支援が必要となる。

女性研究者の状況	支援内容
子育て中	在宅等における研究補助
妊娠中の体調不良	研究補助、学生実験・実習の補助
産休・育児休業中	代替教員（常勤講師）、または非常勤講師
介護中	在宅等における研究補助
介護休業中	代替教員（常勤講師）、または非常勤講師

3. 人材バンクへの登録

人材バンクを利用しようとする研究者の所属する組織、研究分野等によって補助者等の要件が異なることが想定される。

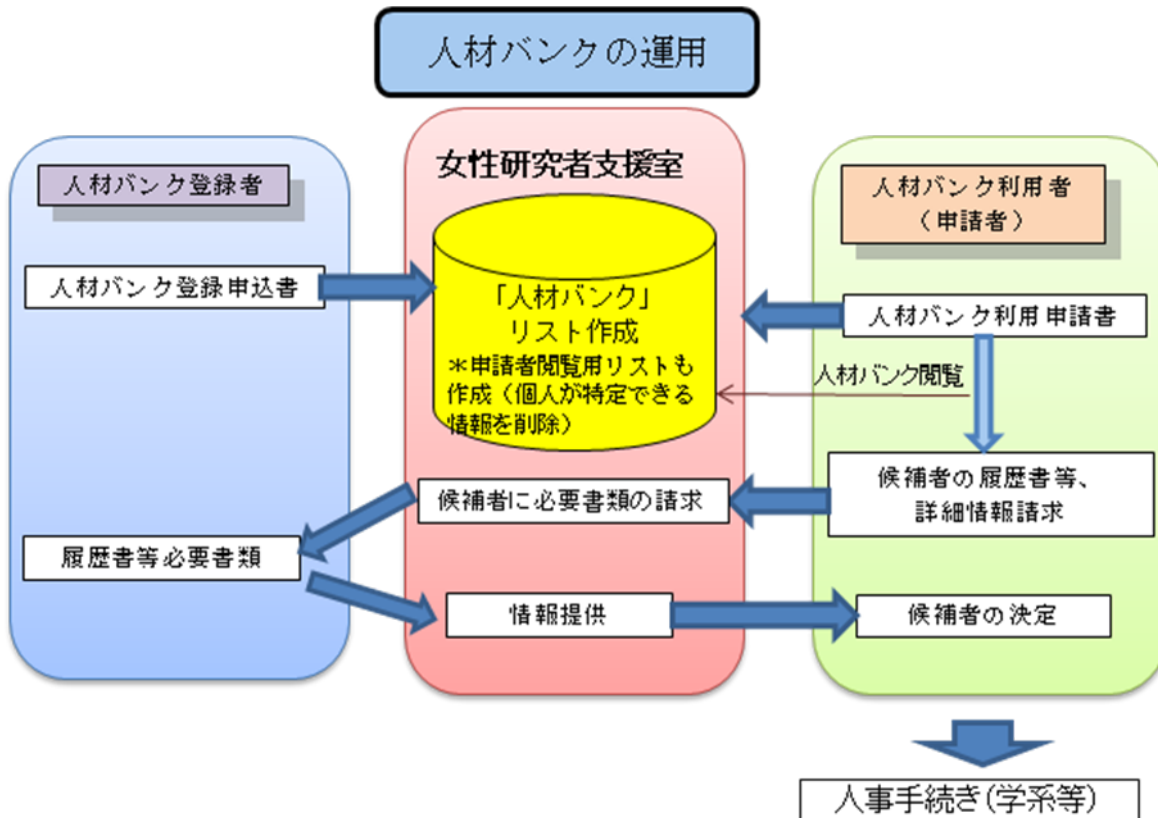
そこで、人材バンクへの登録希望者は、以下の表に示す学歴、資格、職歴・経験、研究業績、及び、希望する支援内容等について、所定の様式に記入し、女性研究者支援室（以下、支援室）に申請する。なお、所定の様式、登録方法については、別途定める。

学歴（学位）	1. 博士（前期・後期）課程在学中
	2. 学士の学位
	3. 修士の学位
	4. 博士の学位
専門分野	
資格 （取得免許等）	1. 教育職員
	2. 医師
	3. 歯科医師
	4. 看護師
	5. 助産師
	6. 保健師
	7. 歯科衛生士
	8. 診療放射線技師
	9. 臨床検査技師
	10. 社会福祉士
	11. その他
職歴・経験	1. 専門学校・短期大学・大学等における専任での勤務経験
	2. 専門学校・短期大学・大学等における非常勤講師経験
	3. 小・中・高校での教育経験
	4. 臨床（業務）経験
	5. 研究・実験補助（TA含む）の経験
	6. その他
研究業績	1. 専門分野での研究業績

4. 人材バンクの運用

研究補助者等の支援が必要となった女性研究者は、人材バンク利用に係る所定の様式に記入し、支援室に申請を行う。申請者が人材バンクを検索できるよう支援室で設定し、申請者のニーズにあった人材が見つかった場合、支援室に申し出る。支援室が仲介し、該当登録者に係る必要書類等を申請者に提供する。

なお、採用に係る手続きは、申請者の所属する人事単位（学系等）において行う。



5. その他

女性研究者支援事業に係る研究補助者を採用する場合は、支援室で当該研究補助者の人件費を負担することとしており、これについては支援室において手続きを行う。